



闇市

と

都市

高島屋史料館 TOKYO

4階
展示室

(東京都中央区日本橋2-4-1)

Black Markets
and
the Reimagining
of Tokyo

開館時間

10時30分—19時30分

高島屋史料館
TOKYO

2025.9.13 sat. - 2026.2.23 mon.

入館無料

Black Markets and the Reimagining of Tokyo

2025年9月13日(土)～2026年2月23日(月・祝)

場所：高島屋史料館TOKYO4階展示室

闇市と都市

入館無料

新宿駅東口

3枚の写真を合成加工したもの
(撮影/影山光洋, 1948年4月)



銀座4丁目付近の露店
(衣川太一コレクション, 1940年代後半)



新宿の和田組マーケット露店部の
整理とその後の記録写真
(1950年頃, 東京都公文書館提供)



吉村商会敷地内建物配置図
(1951年頃, 吉村商会所蔵)

東京23区内の建物疎開跡地に
形成されたマーケットの分布
(「帝都疎開事業一般図」1944年に2025年加筆)

変化し続ける都市・東京。それは、昨日や今日に突然立ち現れたものではありません。ターミナル駅やその周辺、街にひかれた道路やささやかな路地、歓楽街の喧騒さえも、すべては歴史の堆積による必然の産物と言えるでしょう。

戦後80年を迎える今年、本展が取り上げるのは戦後の闇市です。その中でも、闇市の形成に重要な役割を果たした東京23区の空地に焦点をあてながら、とりわけ、闇市を起源として新興の盛り場へと発展した新宿に注目してみたいと思います。

戦中、空襲による延焼を防ぐために実施された「建物疎開」は、住宅密集地の家屋を強制的に解体撤去し、空地を生み出しました。この空地や戦争の焼け跡、さらには路上などが、戦後の混乱期において、暫定的・時限的に仮設の市場へと変貌します。これが、いわゆる闇市です。その後、役割を終えた闇市は、徐々に姿を消していきました。

戦争は都市の破壊者でもありましたが、同時に更新者でもありました。皮肉なことに、それは都市における物理的な新陳代謝を加速させた側面があったといえるでしょう。そして戦後に生まれた闇市は、やがて使命を終えつつも、その痕跡を都市の中に刻み込みました。東京の街並みを注意深く観察してみると、今日においてなお、かつてあった闇市の名残を随所に見出すことができます。

戦後、東京はどのように再生したのでしょうか。また、戦後の高度経済成長は、都市をどのように刷新させたのでしょうか。本展では、戦後闇市を単なる「不法占拠」といったイメージを超え、闇市を経由して、猥雑なまでの活力を育んだ都市空間の形成過程に迫りたいと思います。



有楽町の露店(撮影/菊池俊吉, 1946年3月)



新宿の和田組マーケット
(1940年代後半, 東京都公文書館提供)



新宿駅東口駅前の火災保険特殊地図
(都市整図社, 1951年)

イベント開催のご案内

会期中、その他トークや新宿まち歩きイベントの開催を予定しています。

詳細が決まり次第、当館HP / SNSでご案内します。

※イベント内容が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「闇市と都市」展 オープン記念トーク：石橋督和(本展監修・関西学院大学准教授)
9月13日(土) 14:00 - 15:30 高島屋史料館TOKYO 5階旧貴賓室にて

※要事前申込



高島屋史料館TOKYO(東京都中央区日本橋2-4-1)

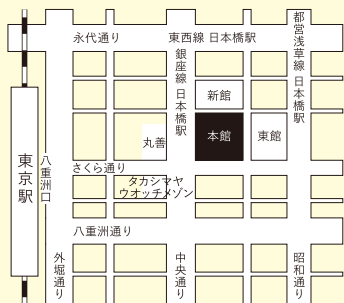
日本橋高島屋S.C. 本館4・5階

※5階旧貴賓室は、対面でのイベント開催時のみ開館します。

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>

- ・JR「東京駅」八重洲北口から徒歩5分
- ・東京メトロ 銀座線・東西線「日本橋駅」直結
- ・都営地下鉄 浅草線「日本橋駅」から徒歩4分

※駐車場は大変混雑しております。お車の出庫には非常に時間がかかるため、ご来館の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。



高島屋史料館
TOKYO